

第2回水資源に関するシンポジウム開催について

<発表論文の募集>

会期 昭和57年8月3日(火)～5日(木)の3日間
会場 科学技術館(東京)
主催 空気調和・衛生工学会, 土木学会, 日本気象学会, 日本地下水学会, 日本林学会, 農業土木学会, 水の週間実行委員会. この他, 関係する10省庁ならびに5団体が後援または協力.

シンポジウムの目的

第1回の水資源シンポジウム(52年10月)以来, 4ヶ年が経過し, 渇水が発生する一方で, 長期水需給計画の策定など水資源問題に対する関心も高まり, 水資源開発の重要性, 節水型社会形成の必要性も広く認識されつつあります.

そこで, 水資源開発, 水資源の有効利用に関する種々の問題について, 再度最新の研究成果を持ちより, 学問や行政のそれぞれの立場から幅広く検討を行い, 今後の水資源に関する研究および水資源の開発と有効利用の推進に資すると共に, 水資源問題に対する理解と認識を更に深めることを目的としています.

論文の内容 シンポジウムの主旨に沿ったもので, 下記のような内容についての論文を歓迎します. 但し, 個々の専門領域の詳細技術を論じたものは御遠慮願います.

論文のテーマ 次の各項目のいずれかに重点をおいたもの.

1. 水資源の有効利用
 - a. 水需要の構造分析
 - b. 既存水利の合理的利用(各種用水の有効利用など)
 - c. 水の再生利用(下水処理水・産業廃水の再利用など)
 - d. 水エネルギーの有効利用(水力発電計画, 中小水力発電, 低落差発電など)

- e. 今後の課題(節水型社会, 料金制度など)
2. 水資源の安定供給
 - a. 水管理と制御(ダムの統合管理, 流況調整など)
 - b. 水資源供給量拡大の課題(水資源賦有量, 開発手法の展開と評価, 人工降雨, 地下水涵養, 海水淡水化など)
 - c. 渇水問題(渇水の予測とその手法, 渇水被害の分析評価, 渇水対策など)
 - d. 水制度(水配分, 法制度など)
 - e. 水源地域対策
 - f. 今後の課題(水資源と地域計画, 産業配置など)
3. 水資源と環境
 - a. 河川環境の保全と流況(各種用水の環境との関係, 水質浄化用水など)
 - b. 流域の管理と保全(水源涵養林, 流域開発と水資源保全など)
 - c. 環境アセスメント手法(事例紹介だけのものは除く)

応募の方法 発表希望の方は, 題目, 著者名(発表者に○印), 所属学会, 勤務先を明記の上, 400～800字(A4版)の内容概要を付けて, 昭和57年2月15日(月)までに下記宛お申し込み下さい.

〒160 東京都新宿区四谷1丁目 社団法人 土木学会内 第2回水資源に関するシンポジウム委員会
 なお論文の採否については, 上記委員会で審査の上決定致します. 採択された論文は, 昭和57年5月31日(月)までに指定の原稿用紙(出来上りB5版<2000字>6頁以内<図表を含めて>)にて提出していただきます.

このシンポジウムに関するお問い合わせは, 河村 武(筑波大学, 電話 0298-53-4400)または古川武彦(気象研究所, 電話 0298-51-7111)へお願いします.